

令和2年度 家庭科 2学年 年間指導計画・評価計画

1. 教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点及びその趣旨

【生活や技術への関心・意欲・態度】

衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、これからの生活を展望して家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。

【生活を工夫し創造する能力】

衣食住や家族の生活などについて見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために工夫し創造している。

【生活の技能】

生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。

【生活や技術についての知識・理解】

家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

3. 2学年の目標

- ①食事が果たす役割と中学生の栄養の特徴について学び、健康によい食習慣について考えることができる。
- ②食品の栄養的特徴を学び、1日分の献立を考えることができる。また、食品を適切に選択できるようになる。
- ③安全や衛生に注意して、日常食の調理ができるようになる。また、地域の食材を生かした調理を工夫して、実践することができる。
- ④消費者としての自覚を持ち、生活に必要な物資やサービスの適切な選択、購入活用ができるようにする。

4. 指導計画・評価計画

月	指導内容	観点・評価規準			評価場面(方法)	
		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能		生活や技術についての知識・理解
6 7 8 9 10 11 12	<p>【健康と食生活】(5時間)</p> <p>(1)食事の役割を考える</p> <p>(2)生活習慣と食事</p> <p>(3)中学生に必要な栄養</p> <p>(4)栄養素の種類とはたらき</p> <p>(5)食事の計画</p> <p>【食品の選択と保存】(6)</p> <p>【調理をしよう】(5時間)</p> <p>(1)調理の計画</p> <p>(2)食事づくりに挑戦しよう</p> <p>①調理の基礎</p> <p>②野菜の調理</p> <p>③魚の調理</p> <p>④肉の調理</p> <p>【地域の食文化を知ろう】(2)</p>	<p>・自分の食生活に関心を持ち、健康によい食習慣について考え、日常生活で実践しようとしている。</p> <p>・中学生に必要な栄養の特徴について関心を持ち、自分の食事と関わらせて考えている。</p> <p>・中学生に必要な栄養素量を満たす一日分の献立について、考えようとしている。</p> <p>①身近な食品に関心を持ち、調べ、よいものを見分けようとする。</p> <p>②調理の種類や目的に合う食品を、用途に応じて選択しようとしている。</p> <p>・調理の流れと手順を理解しようとしている</p> <p>①日常食の調理に関心を持ち、意欲的に調理の計画を立てようとしている。</p> <p>②積極的に調理技術を習得しようとしている。</p> <p>③調理計画、実習を通して、食事についての関心を高め、日常生活で実践しようとしている。</p> <p>・日本全国の郷土料理について関心をもっている。</p> <p>・食生活を取り巻く問題について関心を持ち、よりよくしようという態度が見られる。</p>	<p>・自分の食生活を点検し、課題を見つけ、健康によい食習慣について考え、工夫している。</p> <p>・中学生に必要な栄養素量を満たす一日分の献立について、学んだ知識と技術を活用して工夫したり、自分なりの方法を考えたりしている。</p> <p>・生鮮食品、加工食品の特徴を理解し、を調理の種類や目的に合う食品を、用途に応じ工夫して選択することができる。</p> <p>調理の目的や手順を考え、工夫することができる</p> <p>①食材のそれぞれの特徴を生かした調理を工夫する。</p> <p>②調理の手順や時間を考慮して、能率のよい作業を工夫する。</p> <p>・食生活を改善したりいっそう豊かにするために、日常食や地域の食材を生かした調理について課題を持ち、自分なりに工夫をしたり考えたりしている。</p>	<p>・栄養素の種類とはたらきについて、調べたりまとめることができる。</p> <p>・身近な食品の品質を見分け、食品を目的や用途に応じ、栄養や価格、調理の能率や嗜好、環境への影響などの諸条件も考慮して、適切に選択することができる。</p> <p>エコに配慮した計画を立てることができる。</p> <p>①安全と衛生や作業の能率に留意して調理ができる。</p> <p>②食品や調理器具を適切に扱うことができる。</p> <p>・郷土料理を調べ、まとめることができる。</p>	<p>・栄養素の種類と働きについて理解している。</p> <p>・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。</p> <p>・栄養的特質により食品を食品群に分類することができる。</p> <p>・食品群別摂取量の目安を具体的な食品で示すことができる。</p> <p>・中学生に必要な栄養素量を満たす一日分の献立について、理解している。</p> <p>・食品添加物について理解し、加工食品を適切に使用することができる。</p> <p>・調理の流れと手順を理解できる。</p> <p>①食品の調理上の性質や基本的な調理方法について理解する。</p> <p>②調理の基本的な操作の要点について理解する。</p> <p>・食文化について、基本的な知識を理解している。</p>	<p>・授業に対する取り組み</p> <p>・ワークノート</p> <p>・プリント</p> <p>・定期テスト</p> <p>・小テスト</p> <p>・振り返りシート</p> <p>・授業に対する取り組み</p> <p>・ワークノート</p> <p>・実習の計画、振り返り用紙</p> <p>・定期テスト</p> <p>・振り返りシート</p> <p>・授業に対する取り組み</p> <p>・ワークノート</p>
	持続可能な社会をつくる(1)					

2	<p>【わたしたちの消費と環境】(8時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活について考えよう (1)物資やサービスの選択 (2)いろいろな販売方法と支払い方法 ・消費者としての自覚を持とう (1)わたしたちの生活と契約 (2)消費者を取り巻く問題 (3)クーリングオフ制度 ・生活の中で環境への影響を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ①消費のあり方について振り返り、身近な販売方法の特徴や利点と問題点に関心をもつ。 ②自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費のあり方を改善しようとしている。 ③消費者トラブルに関心を持ち、防止方法を積極的に話し合おうとしている。 ④環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①消費生活の問題点を見つけ、収集・整理した情報を活用して、消費生活をよりよくする方法を自分なりに考え工夫している。 ②生活の中にあるマークの意味を理解し、今後の生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①物資、サービスの選択、購入のための情報収集・整理することができる。 ②環境に配慮して、物資の活用と廃棄が適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①中学生に関わりの深い販売方法の利点と問題点を理解している。 ②物資の選択、購入活用、廃棄に必要な基礎的な知識を理解している。 ③消費者の基本的な権利と責任を理解している。 ④環境に配慮した消費生活を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する取り組み ・ワークノート ・プリント ・提出物 ・定期テスト ・振り返りシート
---	--	---	--	---	--	---

